

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年9月30日
【計算期間】	第14期中（自2022年1月1日至2022年6月30日）
【ファンド名】	スーパーファンド・ジャパン (Superfund Japan)
【発行者名】	スーパーファンド・ジャパン・トレーディング (ケイマン) リミテッド (Superfund Japan Trading (Cayman) Limited)
【代表者の役職氏名】	取締役 テニソン・ブリッグズ (Tennyson Briggs, Director)
【本店の所在の場所】	ケイマン諸島、KY1-9010、グランド・ケイマン、 クリケット・スクエア、ウィロー・ハウス4階、 キャンベルズ・コーポレート・サービスズ・リミテッド気付 (c/o Campbells Corporate Services Limited, Floor 4, Willow House, Cricket Square, Grand Cayman, KY1-9010, Cayman Islands)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 森 下 国 彦
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビルディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
【事務連絡者氏名】	弁護士 青 野 紘 子 弁護士 須 藤 綾 太 弁護士 千 葉 幹 大
【連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビルディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
【電話番号】	03 (6775) 1000
【縦覧に供する場所】	該当事項なし

（注1）本書中における米ドル及びユーロの円貨換算は、別段の表示のない限り、2022年8月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行によって公表された対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝138.63円、1ユーロ＝139.03円）による。

（注2）円貨への換算は、本書において該当する各数値につき、所定の為替換算レートで単純計算の上、必要に応じて四捨五入している。したがって、本書中の同一情報につき異なった数値で円貨表示がなされている場合がある。

1【ファンドの運用状況】

(1)【投資状況】

(2022年6月30日現在)

グリーン	資産の種類	国 名	時価合計 円	投資比率
	スーパーファンド・グリーン・ ゴールドSPCの株式（クラスB・ジャパ ン）及び スーパーファンド・グリーンSPCの株式 （クラスB・ジャパン）	ケイマン諸島	2,198,257,273	100.88%
	現金、受取債権及びその他の資産 （負債控除後）	該当なし	-19,178,738	-0.88%
	純資産総額		2,179,078,536	100.00%
グリーンC	資産の種類	国 名	時価合計 円	投資比率
	スーパーファンド・グリーンSPCの株式 （クラスC・ジャパン）	ケイマン諸島	364,979,984	97.11%
	現金、受取債権及びその他の資産 （負債控除後）	該当なし	10,842,368	2.89%
	純資産総額		375,822,352	100.00%
システムティック・ オールウェザー	資産の種類	国 名	時価合計 円	投資比率
	スーパーファンドSPCの株式（分別ポー トフォリオ・システムティック・オール ウェザー・ファンド・クラスB・ジャパ ン）	ケイマン諸島	462,790,049	97.49%
	現金、受取債権及びその他の資産 （負債控除後）	該当なし	11,908,938	2.51%
	純資産総額		474,698,987	100.00%

（２）【運用実績】**①【純資産の推移】****（a）純資産総額の推移**

	サブファンド 「グリーン」 (円・クラス)	サブファンド 「グリーン」 (米ドル・ クラス)	サブファンド 「グリーン」 (ゴールド円・ クラス)	サブファンド 「グリーン」 (ゴールド 米ドル・ クラス)	サブファンド 「グリーンC」 (円・クラス)	サブファンド 「グリーンC」 (米ドル・ クラス)
	純資産総額 (円)	純資産総額 (米ドル)	純資産総額 (円)	純資産総額 (米ドル)	純資産総額 (円)	純資産総額 (米ドル)
2021年 8 月	672,701,102	1,868,989.08	1,263,424,557	263,232.48	247,254,808	1,426,632.04
9 月	667,623,760	1,831,692.54	1,259,994,205	263,232.48	243,982,951	1,395,618.30
10月	682,231,065	1,823,841.60	1,332,341,995	251,270.63	253,597,618	1,411,125.17
11月	627,401,316	1,681,620.48	1,197,241,242	263,235.89	230,436,315	1,302,577.08
12月	626,784,346	1,699,137.36	1,308,157,520	243,293.78	227,675,117	1,318,083.95
2022年 1 月	631,590,261	1,700,443.08	1,310,327,364	257,253.26	231,123,068	1,333,590.82
2 月	646,585,331	1,752,497.46	1,427,701,859	230,637.34	241,466,922	1,395,618.30
3 月	672,056,927	1,723,106.00	1,610,918,041	254,245.89	250,928,100	1,364,604.56
4 月	694,136,249	1,663,683.81	1,539,366,437	327,141.22	262,320,714	1,340,236.24
5 月	687,956,692	1,607,575.28	1,409,036,273	313,238.18	261,705,951	1,240,123.26
6 月	628,041,098	1,404,647.65	1,322,308,558	280,398.00	228,592,128	1,084,645.07
7 月	621,504,417	1,418,621.70	1,284,030,751	276,530.49	225,781,738	1,103,066.24

	サブファンド 「システムティッ ク・オールウェ ザー」 (円・クラス)	サブファンド 「システムティッ ク・オールウェ ザー」 (ゴールド円・ クラス)
	純資産総額 (円)	純資産総額 (円)
2021年8月	66,970,533	214,685,305
9月	74,780,242	204,588,618
10月	79,001,575	222,920,717
11月	173,232,456	213,095,671
12月	187,748,935	244,374,590
2022年1月	196,495,436	241,703,490
2月	194,680,130	264,416,413
3月	209,279,886	305,874,804
4月	189,509,485	295,086,836
5月	188,772,427	294,738,958
6月	181,657,498	293,041,488
7月	188,459,491	295,127,490

（注1）サブファンド「グリーン」シルバー円・クラス及びシルバー米ドル・クラスは、新設クラスとして2022年9月1日より運用が開始されたため、2022年8月以前の情報が無い。

(b) 1口当たりの純資産価額の推移

	サブファンド 「グリーン」 (円・クラス)	サブファンド 「グリーン」 (米ドル・ クラス)	サブファンド 「グリーン」 (ゴールド円・ クラス)	サブファンド 「グリーン」 (ゴールド 米ドル・ クラス)	サブファンド 「グリーンC」 (円・クラス)	サブファンド 「グリーンC」 (米ドル・ クラス)
	1口当たりの 純資産価額 (円)	1口当たりの 純資産価額 (米ドル)	1口当たりの 純資産価額 (円)	1口当たりの 純資産価額 (米ドル)	1口当たりの 純資産価額 (円)	1口当たりの 純資産価額 (米ドル)
2021年 8 月	82.16	1.04	138.45	1.32	86.15	0.92
9 月	81.49	1.02	133.76	1.26	85.01	0.90
10月	84.27	1.03	142.81	1.32	88.36	0.91
11月	78.21	0.96	131.78	1.22	80.29	0.84
12月	80.12	0.97	140.71	1.29	82.54	0.85
2022年 1 月	81.01	0.98	139.28	1.27	83.79	0.86
2 月	83.66	1.01	152.55	1.40	87.54	0.90
3 月	87.65	1.00	171.05	1.48	90.97	0.88
4 月	91.49	0.98	184.23	1.47	95.10	0.86
5 月	91.17	0.97	174.94	1.41	94.89	0.86
6 月	83.63	0.88	164.54	1.26	82.87	0.76
7 月	83.86	0.89	159.33	1.24	83.93	0.77

	サブファンド 「システムティッ ク・オールウェ ザー」 (円・クラス)	サブファンド 「システムティッ ク・オールウェ ザー」 (ゴールド円・ クラス)
	1口当たりの 純資産価額 (円)	1口当たりの 純資産価額 (円)
2021年 8 月	46.69	71.48
9 月	45.35	68.30
10月	47.91	74.42
11月	46.34	71.14
12月	47.51	76.18
2022年 1 月	46.19	72.93
2 月	45.74	76.32
3 月	47.02	83.50
4 月	42.56	79.26
5 月	42.37	75.43
6 月	40.75	74.97
7 月	42.26	75.47

（注 1）サブファンド「グリーン」シルバー円・クラス及びシルバー米ドル・クラスは、新設クラスとして2022年9月1日より運用が開始されたため、2022年8月以前の情報が無い。

②【分配の推移】

該当なし

③【収益率の推移】

サブファンド「グリーン」

	収益率			
	円・クラス	米ドル・ クラス	ゴールド円・ クラス	ゴールド 米ドル・クラス
自2021年8月1日 至2022年7月31日	1.98%	-14.42%	15.50%	-6.06%

サブファンド「グリーンC」

	収益率	
	円・クラス	米ドル・ クラス
自2021年8月1日 至2022年7月31日	-2.68%	-17.20%

サブファンド「システマティック・オールウェザー」

	収益率	
	円・クラス	ゴールド円・ クラス
自2021年8月1日 至2022年7月31日	-9.22%	6.21%

2【販売及び買戻しの実績】

（自2021年8月1日至2022年7月31日）

サブ ファンド	クラス	販売受益証券数 (口)	買戻受益証券数 (口)	発行済受益証券数 (口)
グリーン	円・クラス	45,536.90 (45,536.90)	1,009,079 (1,009,079)	7,411,321.84 (7,411,321.84)
	米ドル・クラス	25.12 (25.12)	218,754 (218,754)	1,589,059 (1,589,059)
	ゴールド円・クラス	2,012,505.11 (2,012,505.11)	2,875,505 (2,875,505)	8,058,915.14 (8,058,915.14)
	ゴールド米ドル ・クラス	115,021.56 (115,021.56)	91,740 (91,740)	222,700.10 (222,700.10)
グリーンC	円・クラス	- (-)	179,778 (179,778)	2,690,272 (2,690,272)
	米ドル・クラス	- (-)	115,148 (115,148)	1,435,539 (1,435,539)
システム ティック・ オールウェ ザー	円・クラス	3,061,160 (3,061,160)	35,365 (35,365)	4,460,160.06 (4,460,160.06)
	ゴールド円・クラス	971,145.09 (971,145.09)	68,957 (68,957)	3,910,078.24 (3,910,078.24)

（注1）サブファンド「グリーン」シルバー円・クラス及びシルバー米ドル・クラスは、新設クラスとして2022年9月1日より運用が開始されたため、2022年8月以前の情報が無い。

3【ファンドの経理状況】

1. 本書記載のスーパーファンド・ジャパン（以下、「当ファンド」という。）の2022年6月30日に終了した6ヶ月に係る和文の中間財務書類は、「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」（平成5年大蔵省令第22号）に基づき、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）第76条第4項ただし書の規定を適用して、米国における諸法令及び一般に認められた会計原則に準拠して作成された当ファンドの中間財務書類の原文を翻訳したものである。
2. 当ファンドの原文の中間財務書類は、独立監査人の監査を受けていない。
3. 当ファンドの原文の中間財務書類は、一部米ドルで表示されている。日本文の中間財務書類には、原文の中間財務書類中の米ドル表示の金額のうち主要なものについて円換算額が併記されている。日本円への換算には、2022年8月31日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝138.63円）が使用されている。なお、千円未満の金額は四捨五入されている。

（１）【資産及び負債の状況】

スーパーファンド・ジャパンーサブファンド・グリーン（旧称：「スーパーファンド・グリーンBジャパン」）

貸借対照表（未監査）

2022年及び2021年6月30日現在

（単位：日本円）

	注記	2022年	2021年
資産			
ファンドの投資（公正価値） （原価：1,754,204,319円）		2,198,257,273	2,087,225,869
ファンドへの投資に関する未収金		14,210,331	4,607,525
現金		66,555,281	4,578,680
外貨建て現金（原価：2,557,980円）		2,555,522	3,753,390
その他の資産		771,360	728,659
		<u>2,282,349,767</u>	<u>2,100,894,123</u>
負債			
前受申込金		2,600,000	3,190,000
ファンドへの投資に関する未払金		16,902,392	—
未払買戻金		79,819,103	8,642,563
未払金及び未払費用	3,5,7	3,949,736	3,379,756
		<u>103,271,231</u>	<u>15,212,319</u>
純資産		<u><u>2,179,078,536</u></u>	<u><u>2,085,681,804</u></u>

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン－サブファンド・グリーン（旧称：「スーパーファンド・グリーンBジャパン」）

損益計算書（未監査）

2022年1月1日から2022年6月30日の期間（及び2021年1月1日から2021年6月30日の期間）

（単位：日本円）

	注記	2022年6月30日に 終了した6ヶ月	2021年6月30日に 終了した6ヶ月
費用			
事務管理報酬	7	587,977	661,801
専門家報酬		1,642,164	1,409,030
受託会社報酬	6	678,560	588,811
代行協会員報酬	5	1,169,471	1,110,188
管理報酬	3	1,169,417	1,110,113
一般管理費		882,119	4,039,717
		<u>6,129,708</u>	<u>8,919,660</u>
正味投資損失		<u>(6,129,708)</u>	<u>(8,919,660)</u>
投資及び外貨に係る正味実現及び 未実現利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現利益		147,411,334	83,181,531
投資及び外貨に係る未実現利益の変動		155,158,741	193,596,333
		<u>302,570,075</u>	<u>276,777,864</u>
営業活動から生じた純資産の正味増加額		<u><u>296,440,367</u></u>	<u><u>267,858,204</u></u>

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーン（旧称：「スーパーファンド・グリーンBジャパン」）

純資産変動計算書（未監査）

2022年1月1日から2022年6月30日の期間（及び2021年1月1日から2021年6月30日の期間）

（単位：日本円）

	2022年	2021年
営業活動		
正味投資損失	(6,129,708)	(8,919,660)
投資及び外貨に係る正味実現利益	147,411,334	83,181,531
投資及び外貨に係る未実現利益の変動	155,158,741	193,596,333
	<u>296,440,367</u>	<u>267,858,204</u>
資本取引		
ゴールド円・クラス受益証券の発行に係る収入	163,730,000	255,359,008
円・クラス受益証券の発行に係る収入	1,800,000	70,351,054
ゴールド米ドル・クラス受益証券の発行に係る収入	18,042,349	5,293,835
米ドル・クラス受益証券の発行に係る収入	—	11,346,103
ゴールド円・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(393,439,112)	(291,647,335)
円・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(26,866,628)	(67,702,609)
ゴールド米ドル・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(13,582,154)	(10,978,264)
米ドル・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(20,011,468)	(15,007,296)
	<u>(270,327,013)</u>	<u>(42,985,504)</u>
当期純資産増加額	<u>26,113,354</u>	<u>224,872,700</u>
期首純資産残高	<u>2,152,965,182</u>	<u>1,860,809,104</u>
期末純資産残高	<u><u>2,179,078,536</u></u>	<u><u>2,085,681,804</u></u>

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパンースーパーファンド・グリーンCジャパン

貸借対照表（未監査）

2022年及び2021年6月30日現在

（単位：日本円）

	注記	2022年	2021年
資産			
マスターファンドへの投資		364,979,984	383,939,220
マスターファンドからの未収金		1,485,873	2,999,972
現金		9,150,277	5,509,620
その他の資産		1,088,783	639,557
		376,704,917	393,088,369
負債			
未払金及び未払費用	3,5,7	882,565	901,543
		882,565	901,543
純資産			
		375,822,352	392,186,826

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン—スーパーファンド・グリーンCジャパン

損益計算書（未監査）

2022年1月1日から2022年6月30日の期間（及び2021年1月1日から2021年6月30日の期間）

（単位：日本円）

	注記	2022年6月30日に 終了した期間	2021年6月30日に 終了した期間
マスターファンドから配分された正味投資損失			
受取利息		240,076	17,690
費用		(19,015,628)	(16,397,634)
		(18,775,552)	(16,379,944)
費用			
事務管理報酬	7	521,523	535,120
受託会社報酬	6	678,560	588,811
代行協会員報酬	5	204,152	196,571
管理報酬	3	204,136	196,539
専門家報酬		287,973	285,872
支払利息		54	—
一般管理費		2,374,867	777,685
		4,271,265	2,580,598
正味投資損失		(23,046,817)	(18,960,542)
サブファンドの外貨に係る実現及び 未実現損失の変動			
外貨に係る正味実現（損失）／利益		(5,035)	376,998
外貨に係る未実現利益／（損失）の変動		8,398	(190,563)
		3,363	186,435
マスターファンドから配分された投資及び 外貨に係る正味実現及び未実現 （損失）／利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現（損失）／利益		21,062,891	78,811,746
投資及び外貨に係る未実現利益／（損失） の変動		11,442,728	(6,980,041)
		32,505,619	71,831,705
営業活動から生じた純資産の正味増加額		9,462,165	53,057,598

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパンースーパーファンド・グリーンCジャパン

純資産変動計算書（未監査）

2022年1月1日から2022年6月30日の期間（及び2021年1月1日から2021年6月30日の期間）

（単位：日本円）

	2022年	2021年
営業活動		
正味投資損失	(23,046,817)	(18,960,542)
投資及び外貨に係る正味実現利益	21,057,856	79,188,744
投資及び外貨に係る未実現利益／（損失）の変動	11,451,126	(7,170,604)
	<u>9,462,165</u>	<u>53,057,598</u>
資本取引		
円・クラス受益証券の買戻しに係る支払	—	(28,439,757)
米ドル・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(12,268,432)	(9,964,008)
	<u>(12,268,432)</u>	<u>(38,403,765)</u>
当期純資産（減少）／増加額	<u>(2,806,267)</u>	<u>14,653,833</u>
期首純資産残高	378,628,619	377,532,993
期末純資産残高	<u><u>375,822,352</u></u>	<u><u>392,186,826</u></u>

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパンースーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オール
ウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）

貸借対照表（未監査）

2022年及び2021年6月30日現在

（単位：日本円）

	注記	2022年	2021年
資産			
マスターファンドへの投資		462,790,049	252,040,519
マスターファンドからの未収金		1,833,610	3,647,906
現金		9,663,518	25,536
外貨建て現金（原価：627,465円）		698,181	6,502,645
その他の資産		678,343	632,266
		<u>475,663,701</u>	<u>262,848,872</u>
負債			
前受申込金		200,000	—
未払金及び未払費用	3,5,7	764,714	826,835
		<u>964,714</u>	<u>826,835</u>
純資産		<u><u>474,698,987</u></u>	<u><u>262,022,037</u></u>

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン—スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オール
ウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）

損益計算書（未監査）

2022年1月1日から2022年6月30日の期間（及び2021年1月1日から2021年6月30日の期間）

（単位：日本円）

	注記	2022年6月30日に 終了した期間	2021年6月30日に 終了した期間
マスターファンドから配分された正味投資損失			
受取利息		2,158	—
費用		(9,185,940)	(2,151,715)
		<u>(9,183,782)</u>	<u>(2,151,715)</u>
費用			
専門家報酬		85,895	193,849
販売報酬	4	725,834	752,119
事務管理報酬	7	519,293	540,082
受託会社報酬	6	678,560	588,811
代行協会員報酬	5	234,099	125,355
管理報酬	3	234,054	125,327
支払利息		80	—
一般管理費		1,672,921	906,137
		<u>4,150,736</u>	<u>3,231,680</u>
正味投資損失		<u>(13,334,518)</u>	<u>(5,383,395)</u>
サブファンドの外貨に係る実現及び 未実現（損失）／利益の変動			
外貨に係る正味実現利益／（損失）		(255,824)	(60,994)
外貨に係る未実現利益の変動		123,965	330,543
		<u>(131,859)</u>	<u>269,549</u>
マスターファンドから配分された 投資及び外貨に係る正味実現及び未実現 （損失）／利益の変動			
投資及び外貨に係る正味実現（損失）／利益		(31,523,279)	26,920,057
投資及び外貨に係る未実現利益／（損失） の変動		9,427,295	(8,282,036)
		<u>(22,095,984)</u>	<u>18,638,021</u>
営業活動から生じた純資産の 正味（減少）／増加額		<u>(35,562,361)</u>	<u>13,524,175</u>

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン—スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オール
ウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）

純資産変動計算書（未監査）

2022年1月1日から2022年6月30日の期間（及び2021年1月1日から2021年6月30日の期間）

（単位：日本円）

	2022年	2021年
営業活動		
正味投資損失	(13,334,518)	(5,383,395)
投資及び外貨に係る正味実現（損失）／利益	(31,779,103)	26,859,063
投資及び外貨に係る未実現利益／（損失）の変動	9,551,260	(7,951,493)
	<u>(35,562,361)</u>	<u>13,524,175</u>
資本取引		
ゴールド円・クラス受益証券の発行に係る収入	58,500,000	—
円・クラス受益証券の発行に係る収入	25,270,000	—
ゴールド円・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(3,987,069)	(572,741)
円・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(930,800)	(6,927,340)
	<u>78,852,131</u>	<u>(7,500,081)</u>
当期純資産増加額	<u>43,289,770</u>	<u>6,024,094</u>
期首純資産残高	431,409,217	255,997,943
期末純資産残高	<u><u>474,698,987</u></u>	<u><u>262,022,037</u></u>

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパンースーパーファンド・レッド・ジャパン

貸借対照表（未監査）

2022年及び2021年6月30日現在

（単位：米ドル）

		2022年		2021年	
	注記	米ドル	千円	米ドル	千円
資産					
マスターファンドへの投資		5,846,093	810,444	8,201,782	1,137,013
マスターファンドからの未収金		61,337	8,503	9,482	1,314
現金		10,050	1,393	35,227	4,884
外貨建て現金					
(原価：103,951米ドル)		98,734	13,687	65,192	9,038
その他の資産		5,965	827	6,014	834
		6,022,179	834,855	8,317,697	1,153,082
負債					
前受申込金		—	—	50,400	6,987
マスターファンドへの未払金		100,465	13,927	—	—
未払金及び未払費用	3,5,7	14,804	2,052	18,366	2,546
		115,269	15,980	68,766	9,533
純資産					
		5,906,910	818,875	8,248,931	1,143,549

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン—スーパーファンド・レッド・ジャパン

損益計算書（未監査）

2022年1月1日から2022年6月30日の期間（及び2021年1月1日から2021年6月30日の期間）

（単位：米ドル）

		2022年6月30日に 終了した6ヶ月		2021年6月30日に 終了した6ヶ月	
	注記	米ドル	千円	米ドル	千円
マスターファンドから配分された 正味投資損失					
受取利息		5,295	734	554	77
費用		(151,174)	(20,957)	(181,504)	(25,162)
		(145,879)	(20,223)	(180,950)	(25,085)
費用					
事務管理報酬	7	4,363	605	5,003	694
受託会社報酬	6	5,492	761	5,455	756
専門家報酬		5,273	731	6,057	840
代行協会員報酬	5	2,644	367	4,159	577
管理報酬	3	2,644	367	4,159	577
一般管理費		10,231	1,418	18,737	2,598
		30,647	4,249	43,570	6,040
正味投資損失		(176,526)	(24,472)	(224,520)	(31,125)
サブファンドの外貨に係る実現及び 未実現利益／（損失）の変動					
外貨に係る正味実現利益／（損 失）		483	67	(638)	(88)
外貨に係る未実現利益／（損失） の変動		3,523	488	(2,400)	(333)
		4,006	555	(3,038)	(421)
マスターファンドから配分された 投資及び外貨に係る正味実現及び 未実現（損失）／利益の変動					
投資及び外貨に係る正味実現 （損失）／利益		(1,020,324)	(141,448)	845,884	117,265
投資及び外貨に係る未実現 （損失）の変動		(6,116)	(848)	(807,113)	(111,890)
		(1,026,440)	(142,295)	38,771	5,375
営業活動から生じた 純資産の正味減少額		(1,198,960)	(166,212)	(188,787)	(26,172)
添付の財務諸表注記参照。					

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパンスーパーファンド・レッド・ジャパン

純資産変動計算書（未監査）

2022年1月1日から2022年6月30日の期間（及び2021年1月1日から2021年6月30日の期間）

（単位：米ドル）

	2022年		2021年	
	米ドル	千円	米ドル	千円
営業活動				
正味投資損失	(176,526)	(24,472)	(224,520)	(31,125)
投資及び外貨に係る正味実現（損失）／利益	(1,019,841)	(141,381)	845,246	117,176
投資及び外貨に係る未実現（損失）の変動	(2,593)	(359)	(809,513)	(112,223)
	<u>(1,198,960)</u>	<u>(166,212)</u>	<u>(188,787)</u>	<u>(26,172)</u>
資本取引				
ゴールド円・クラス受益証券の発行に係る収入	5,214	723	30,655	4,250
シルバー米ドル・クラス受益証券の発行に係る収入	—	—	100,012	13,865
シルバー円・クラス受益証券の発行に係る収入	5,214	723	77,126	10,692
シルバー円・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(26,426)	(3,663)	(20,244)	(2,806)
ゴールド円・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(168,840)	(23,406)	(12,988)	(1,801)
ゴールド米ドル・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(12,413)	(1,721)	—	—
円・クラス受益証券の買戻しに係る支払	(111,908)	(15,514)	(43,966)	(6,095)
	<u>(309,159)</u>	<u>(42,859)</u>	<u>130,595</u>	<u>18,104</u>
当期純資産減少額	<u>(1,508,119)</u>	<u>(209,071)</u>	<u>(58,192)</u>	<u>(8,067)</u>
期首純資産残高	7,415,029	1,027,945	8,307,123	1,151,616
期末純資産残高	<u>5,906,910</u>	<u>818,875</u>	<u>8,248,931</u>	<u>1,143,549</u>

添付の財務諸表注記参照。

財務諸表注記（未監査）

2022年及び2021年6月30日現在（単位：日本円）

1. 設立及び主な活動

スーパーファンド・ジャパン（以下、「当信託」という。）は、UBSファンド・サービシズ（ケイマン）リミテッド（以下、「退任受託会社」という。）及びスーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下、「管理会社」という。）の間で締結された信託証書（以下、「信託証書」という。）に従ってケイマン諸島の法律に基づいて設立された。当信託は2018年1月1日付けで、名称をスーパーファンド・グリーン・ゴールド・ジャパンから、スーパーファンド・ジャパンに変更した。当信託は、信託証書に従ってケイマン諸島の信託法に基づいて2009年6月5日に組織され、2009年6月29日にケイマン諸島のミューチュアル・ファンド法セクション4（1）（b）に基づいて登録された。退任・任命・変更証書に基づき、2015年5月8日付でハーニーズ・フィデューシャリー（ケイマン）リミテッド（以下、「受託会社」という。）が当信託の受託会社に任命された。受託会社の当信託に関する主な営業拠点はケイマン諸島である。

当信託はオープン・エンド型のアンブレラ・ファンドであり、スーパーファンド・グリーン（旧称「グリーンBジャパン」）、スーパーファンド・グリーンCジャパン、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）及びスーパーファンド・レッド・ジャパン（以下、それぞれ「サブファンド」、及び総称して「サブファンズ」という。）が設定されている。各サブファンドは独立した資産及び負債のプールとして、他のサブファンドと分別して管理されている。

管理会社は当信託の再編を行うことを希望し、2020年12月18日に受託会社は2021年1月1日からこの再編を実施することを決議した。

2021年1月1日付で、スーパーファンド・グリーンBジャパンの名称は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンに変更された。スーパーファンド・ジャパン株式会社（以下、「販売会社」）は、2020年12月31日にサブファンド・スーパーファンド・グリーンAジャパンから強制的に償還された。2021年1月1日にスーパーファンド・グリーンAジャパンの受益者はスーパーファンド・グリーンBジャパンの対応するクラスの口数を獲得した。償還後、スーパーファンド・グリーンAジャパンは終了された。

スーパーファンド・グリーン（旧称「スーパーファンド・グリーンBジャパン」）は、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーンSPC及びスーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCの分別ポートフォリオBに投資している。

スーパーファンド・グリーンCジャパンは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーンSPC（以下、「グリーン・マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオCに投資している。

スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPCは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC（以下、「グリーン・ゴールド・マスターファンド」という。）のスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスター・分別ポートフォリオに投資している。グリーン・ゴールド・マスターファンドの目的は、テクニカル分析の利用を通じて長期のキャピタル・ゲインを達成することである。グリーン・ゴールド・マスターファンドは、金先物を含む様々な種類の先物契約にその資産を投資しており、金現物にも投資する場合がある。

グリーン・マスターファンド、すなわちスーパーファンド・グリーンSPCは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・グリーン・マスター（以下、「グリーン・アンダーライニング・マスターファンド」という。）に投資してい

る。グリーン・アンダーライニング・マスターファンドの目的は、株式及び証券市場の動きの影響を受けない投資形態として、平均以上の長期的なキャピタル・ゲインを達成するための投資を投資家に提供することである。グリーン・アンダーライニング・マスターファンドは、投資機会及び取引戦略を利用する意向であるため、対象とする先物投資の特性に関する見解を事前に決めているわけではなく、どのような制約も受けることはない。

2021年7月1日付で、スーパーファンド・シャープパリティは、その名称をスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システムティック・オールウェザーへ変更した。

スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システムティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）は、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンドSPC（旧称「スーパーファンド・ブルーSPC」）（以下、「システムティック・オールウェザー・マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオであるシステムティック・オールウェザー・ファンド（旧称「シャープパリティ」）に投資している。

システムティック・オールウェザー・マスターファンドの主たる目的は、先物及び先渡契約のレバレッジ取引を通じ、資本の増加を達成することである。システムティック・オールウェザー・ファンド分別ポートフォリオは主にロングオンリーのリスクパリティ戦略を採用し、この目的を追求する。この戦略は、スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより運用される。さらに他の戦略も限られた重みづけで合わせて使用される可能性がある。また、これらの戦略は、先物及び／又は先渡契約を空売りする可能性がある。

スーパーファンド・レッド・ジャパンは、「マスター・フィーダー」構造の一部であり、その資産のほぼすべてをケイマン諸島の適用免除会社であるスーパーファンド・レッド・ワンSPC（以下、「レッド・マスターファンド」という。）の分別ポートフォリオIに投資している。

レッド・マスターファンドの目的は、株式及び証券市場の動きの影響を受けない（実質的には、株式、証券及びオプション市場との相関関係に基づくものではない）投資形態として、平均以上の長期的なキャピタル・ゲインを達成するための投資を投資家に提供することである。分別ポートフォリオIの投資目的は、特定のソフトウェアを使用したテクニカル分析を行うことにより、長期のキャピタル・ゲインを達成することである。

グリーン・マスターファンド、システムティック・オールウェザー・マスターファンド及びレッド・マスターファンドを総称して「マスターファンド」という。グリーン・アンダーライニング・マスターファンドは「アンダーライニング・マスターファンド」という。

管理会社は、代行協会員契約に従って、スーパーファンド・ジャパン株式会社（以下、「販売会社」という。）を当信託の日本における代行協会員に選任している。代行協会員は1口当たり純資産価額を公表し、日本証券業協会（以下、「JSDA」という。）に財務諸表を提出する責任を有している。当信託の年次監査済財務諸表は、日本における開示義務の一環として有価証券報告書及び有価証券届出書に含まれており、関東財務局に提出されている。

2. 重要な会計方針

当該財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められる会計原則に従って作成されている。当信託が適用した重要な会計方針は以下のとおりである。

（a）見積りの使用

GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は、財務諸表日現在の資産及び負債の報告金額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに当報告期間中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積りとは異なる可能性がある。

（b）受取利息及び支払利息

受取利息及び支払利息は、発生主義で計上される。

（c）外貨

外貨建て又は外貨で会計処理される資産及び負債は、貸借対照表日の為替レートで日本円に換算される。外貨建て取引は取引日の為替レートで日本円に換算される。換算によって生じる実現及び未実現利益及び損失は、損益計算書に含まれる。

（d）法人税等

ケイマン諸島では、収益又は利益に対して課税されることはなく、当信託は、租税特別措置法の条文に従い、2059年6月5日までの期間について将来の収益又は利益に対する現地の税金をすべて免除する旨の誓約をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当該財務諸表に含まれていない。

3. 管理報酬

当信託の投資活動は、共通支配下に置かれている関連当事者である管理会社により管理されている。投資顧問契約に基づいて、管理会社は、各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）相当の月次管理報酬を後払いで受領している。

2022年6月30日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払管理報酬は、サブファンド・グリーン（旧称「グリーンBジャパン」）が190,015円、スーパーファンド・グリーンCジャパンが33,333円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システムティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）が39,060円、スーパーファンド・レッド・ジャパンが489米ドルである。

4. 販売会社報酬

関連会社であるスーパーファンド・ジャパン株式会社（「販売会社」）はスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システムティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）の販売会社として、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システムティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）純資産価額の0.6%（年率）相当の報酬を毎月受領する権利を有している。

2022年6月30日現在、未払金及び未払費用に含まれている未払販売会社報酬は、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システムティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）の234,394円であり、その他のサブファンドについては未払販売会社報酬はない。その他のサブファンドについては、マスターファンドが販売会社報酬を支払う。

5. 代行協会員報酬

販売会社は、各サブファンドの純資産価額の0.1%（年率）相当の報酬を受領する権限を有している。

2022年6月30日現在、未払金及び未払費用に含まれている各サブファンドの未払代行協会員報酬はサブファンド・グリーン（旧称「グリーンBジャパン」）が175,759円、スーパーファンド・グリーンCジャパンが33,334円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システムティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）が39,066円、スーパーファンド・レッド・ジャパンが489米ドルである。

6. 受託会社報酬

受託会社は、各サブファンドにつき年間で11,075米ドルの報酬を受領する権限を有している。

2022年6月30日現在、サブファンド・グリーン（旧称グリーンBジャパン）、スーパーファンド・グリーンCジャパン、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システムティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）、スーパーファンド・レッド・ジャパンに対する未払受託会社報酬はない。

7. 事務管理報酬

2022年4月1日付で、NAVファンド・アドミニストレーション・グループ（以下、「事務管理会社」という。）が当信託の事務管理会社に任命された。事務管理契約に基づいて、当信託は、NAVファンド・アドミニストレーション・グループに対し、毎月最終評価日において計算された報酬を後払いで支払っている。その金額は、サブファンド・グリーン（旧称グリーンBジャパン）、スーパーファンド・グリーンCジャパン、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）及びスーパーファンド・レッド・ジャパンに対し、それぞれ年間6,900米ドルである。2022年4月1日より前は、エイペックス・ファンド・サービシーズ・エス・エーが事務管理会社を務めていた。

2022年6月30日現在の未払金及び未払費用に含まれている未払事務管理報酬は、サブファンド・グリーン（旧称グリーンBジャパン）が121,905円、スーパーファンド・グリーンCジャパンが121,901円、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・システマティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）が116,644円、スーパーファンド・レッド・ジャパンが1,850米ドルである。

8. 純資産価額

各サブファンドの各クラス及びシリーズのユニット別純資産価額の概要は以下のとおりである。

サブファンド・グリーン（旧称「グリーンBジャパン」）

2022年

ユニット毎の純資産価額

円建て－ゴールド円・クラス	8,036,269	ユニット	日本円	164.54
円建て－円・クラス	7,510,195	ユニット	日本円	83.63
米ドル建て－ゴールド米ドル・クラス	222,700	ユニット	米ドル	1.26
米ドル建て－米ドル・クラス	1,590,750	ユニット	米ドル	0.88

2021年

ユニット毎の純資産価額

円建て－ゴールド円・クラス	8,872,829	ユニット	日本円	133.19
円建て－円・クラス	8,430,227	ユニット	日本円	80.46
米ドル建て－ゴールド米ドル・クラス	199,419	ユニット	米ドル	1.26
米ドル建て－米ドル・クラス	1,807,788	ユニット	米ドル	1.00

スーパーファンド・グリーンCジャパン

2022年

ユニット毎の純資産価額

円建て－円・クラス	2,758,361	ユニット	日本円	82.87
米ドル建て－米ドル・クラス	1,435,539	ユニット	米ドル	0.76

2021年

ユニット毎の純資産価額

円建て－円・クラス	2,870,050	ユニット	日本円	83.46
米ドル建て－米ドル・クラス	1,550,687	ユニット	米ドル	0.89

サブファンド・システマティック・オールウェザー（旧称「スーパーファンド・シャープパリティ」）

2022年

ユニット毎の純資産価額

円建て－ゴールド円・クラス	3,908,744	ユニット	日本円	74.97
円建て－円・クラス	4,457,706	ユニット	日本円	40.75

2021年

ユニット毎の純資産価額

円建て－ゴールド円・クラス	2,893,399	ユニット	日本円	68.71
円建て－円・クラス	1,390,688	ユニット	日本円	45.45

レッド・ジャパン

2022年

ユニット毎の純資産価額

円建て－ゴールド円・クラス	1,600,246	ユニット	日本円	105.26
円建て－シルバー円・クラス	1,835,401	ユニット	日本円	65.43
円建て－円・クラス	1,257,210	ユニット	日本円	102.96
米ドル建て－ゴールド米ドル・クラス	541,903	ユニット	米ドル	0.76
米ドル建て－シルバー米ドル・クラス	4,798,230	ユニット	米ドル	0.47
米ドル建て－米ドル・クラス	222,195	ユニット	米ドル	0.74

2021年

ユニット毎の純資産価額

円建て－ゴールド円・クラス	1,900,708	ユニット	日本円	98.77
円建て－シルバー円・クラス	1,812,607	ユニット	日本円	80.74
円建て－円・クラス	1,443,336	ユニット	日本円	96.59
米ドル建て－ゴールド米ドル・クラス	556,650	ユニット	米ドル	0.87
米ドル建て－シルバー米ドル・クラス	4,683,621	ユニット	米ドル	0.71
米ドル建て－米ドル・クラス	222,195	ユニット	米ドル	0.85

9. 後発事象

これらの財務諸表を作成するにあたり、経営陣は、当該財務諸表の公表が可能となった2022年9月26日までのすべての重要な後発事象を評価し開示した。

スーパーファンド・レッド・ジャパンの登録受益権者の決議に従い、2022年9月1日付で、スーパーファンド・レッド・ジャパンの受益者には償還手続の過程においてサブファンド「グリーン」の該当クラスの受益証券が発行される予定である。その結果、スーパーファンド・レッド・ジャパンは終了する。

（２）【投資有価証券明細表等】**①【投資株式明細表】**

該当なし

②【株式以外の投資有価証券明細表】

(2022年7月31日現在)

サブファンド		国	公正価額
グリーン	スーパーファンド・グリーンSPC Bの株式 (クラスB・ジャパン)	ケイマン 諸島	810,787,522円
	スーパーファンド・グリーン・ゴールドSPC Bの株式 (クラスB・ジャパン)	ケイマン 諸島	1,321,232,975円
グリーンC	スーパーファンド・グリーンSPC Cの株式 (クラス・ジャパン)	ケイマン 諸島	361,127,079円
システムティッ ク・オールウェ ザー	スーパーファンドSPCの株式 (分別ポートフォリオ・システムティック・オール ウェザー・ファンド・クラスBジャパン・日本円)	ケイマン 諸島	183,894,657円
	スーパーファンドSPCの株式 (分別ポートフォリオ・システムティック・オール ウェザー・ファンド・クラスBジャパン・ゴールド ・ユーロ)	ケイマン 諸島	2,112,522 ユーロ (293,703,934円)

③【投資不動産明細表】

該当なし

④【その他投資資産明細表】

該当なし

⑤【借入金明細表】

該当なし

4【管理会社の概況】

（１）【資本金の額】

- （i）払込資本金総額は、１米ドル（138.63円）である。
- （ii）授權資本は、50,000,000円であり、50,000,000株から構成されている。
- （iii）発行済株式総数は１株である。

（２）【事業の内容及び営業の状況】

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下、「管理会社」という。）は、信託証書の満期まで管理会社としての職務を継続するが、当ファンドの受託会社が承認したその他の法人に後継を託して辞任する権利も付与されている。管理会社が当ファンドに対して提供する投資運用業務は、非排他的なものである。管理会社は、第三者に対しても自由に投資顧問業務を提供することができる。

現在、管理会社は、以下の投資信託の投資管理会社として行為している。

名 称	設立国	種類（基本的性格）	純資産価額合計（通貨別） （2022年７月31日現在）
スーパーファンド・ジャパン	ケイマン諸島	適用免除、 オープン・エンド型 ユニット・トラスト	3,038,911,032円
			5,726,616.35米ドル （約793,880,825円）

（３）【その他】

訴訟及びその他の重大な出来事等

管理会社は、その設立以来、訴訟又は仲裁手続に関与したことは一切ない。また、管理会社の取締役又は株主が認識している限りにおいて、管理会社により、又は管理会社に対して訴訟又は仲裁手続が係争中であるか、提起が予定されているということはない。

5【管理会社の経理の概況】

1. スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下、「管理会社」という。）の2022年6月30日に終了した6ヶ月に係る日本文の中間財務書類は、米国において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠して作成された管理会社の原文の中間財務書類を、「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」（平成5年大蔵省令第22号）に基づき、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）第76条第4項ただし書の規定を適用して翻訳したものである。
2. 管理会社の原文の中間財務書類は、独立監査人の監査を受けていない。
3. 管理会社の原文の中間財務書類は、米ドルで表示されている。日本文の中間財務書類には、原文の中間財務書類中の米ドル表示の金額のうち主要なものについて円換算額が併記されている。日本円への換算には、2022年8月31日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1米ドル＝138.63円）が使用されている。なお、千円未満の金額は四捨五入されている。

（１）【資産及び負債の状況】

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド
貸借対照表（未監査）

2022年６月30日現在

（単位：米ドル）

		2022年 6 月30日		2021年12月31日	
	注記	米ドル	千円	米ドル	千円
資産					
現金		373,778	51,817	430,644	59,700
未収管理報酬	4	1,591	221	8,406	1,165
資産合計		375,369	52,037	439,050	60,866
負債					
未払財務諸表作成費		1,651	229	1,621	225
未払専門家報酬		4,782	663	4,805	666
その他未払専門家報酬		-	-	6,752	936
負債合計		6,433	892	13,178	1,827
株主持分					
株式資本	3	1	0	1	0
資本剰余金	3	420,786	58,334	420,786	58,334
利益剰余金		(51,851)	(7,188)	5,085	705
		368,936	51,146	425,872	59,039
負債合計及び株主持分		375,369	52,037	439,050	60,866

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド
損益計算書（未監査）

2022年6月30日に終了した6ヶ月

（単位：米ドル）

		2022年 6 月30日		2021年 6 月30日	
	注記	米ドル	千円	米ドル	千円
収益					
管理報酬	4	16,000	2,218	17,077	2,367
正味為替（損失）／利益		(65,923)	(9,139)	(33,466)	(4,639)
		(49,923)	(6,921)	(16,389)	(2,272)
費用					
取締役報酬及び費用	5	-	-	7,500	1,040
財務諸表作成費		3,306	458	3,271	453
専門家報酬		3,643	505	5,771	800
その他費用		64	9	989	137
		7,013	972	17,531	2,430
当期純（損失）／利益		(56,936)	(7,893)	(33,920)	(4,702)

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド
株主持分変動表（未監査）

2022年6月30日に終了した6ヶ月

（単位：米ドル）

	株式数	株式資本	資本剰余金	利益剰余金	合計
		米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
2022年1月1日現在残高	1	1	420,786	5,085	425,872
当期純損失	—	-	—	(56,936)	(56,936)
2022年6月30日現在残高	1	1	420,786	(51,851)	368,936

	株式数	株式資本	資本剰余金	利益剰余金	合計
		千円	千円	千円	千円
2022年1月1日現在残高	1	0	58,334	705	59,039
当期純損失	—	-	—	(7,893)	(7,893)
2022年6月30日現在残高	1	0	58,334	(7,188)	51,146

	株式数	株式資本	資本剰余金	利益剰余金	合計
		米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
2021年1月1日現在残高	1	1	420,786	53,040	473,827
当期純損失	—	-	—	(33,920)	(33,920)
2021年6月30日現在残高	1	1	420,786	19,120	439,907

	株式数	株式資本	資本剰余金	利益剰余金	合計
		千円	千円	千円	千円
2021年1月1日現在残高	1	0	58,334	7,353	65,687
当期純損失	—	—	—	(4,702)	(4,702)
2021年6月30日現在残高	1	0	58,334	2,651	60,984

添付の財務諸表注記参照。

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド
キャッシュ・フロー表（未監査）

2022年6月30日に終了した6ヶ月

（単位：米ドル）

	2022年6月30日		2021年6月30日	
	米ドル	千円	米ドル	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
当期純（損失）／利益	(56,936)	(7,893)	(33,920)	(4,702)
現金営業活動における当期純（損失）／利益の調整：				
未収管理報酬の減少／（増加）	6,815	945	(127)	(18)
売掛金及び前払金の（増加）／減少	-	-	(964)	(134)
その他未払金及び未払費用の増加／（減少）	(6,745)	(935)	(2,125)	(295)
営業活動によって使用された 正味現金収支	(56,866)	(7,883)	(37,136)	(5,148)
当期中の現金の純（減少）／増加	(56,866)	(7,883)	(37,136)	(5,148)
期首現金残高	430,644	59,700	475,559	65,927
期末現金残高	373,778	51,817	438,423	60,779

添付の財務諸表注記参照。

財務諸表注記

2022年6月30日

（単位：米ドル）

1. 会社設立及び基礎情報

スーパーファンド・ジャパン・トレーディング（ケイマン）リミテッド（以下「当社」という。）は、2004年10月8日にケイマン諸島の会社法に基づいて適用免除有限会社として設立され、2006年1月1日に開業した。

当社の主な活動は、スーパーファンド・ジャパン（以下「当信託」という。）に対して投資運用サービスを提供することである。

当社は本信託の投資運用会社を務め、代行協会員契約に従って、スーパーファンド・ジャパン株式会社を日本における当信託の代行協会員として選任している。代行協会員は、1口当たり純資産価額を公表し、日本証券業協会に財務諸表を提出する責任がある。スーパーファンド・ジャパン株式会社は、当信託の販売会社としての業務も行っている。当社及び当信託の年次監査済財務諸表は、日本における開示義務の一環として有価証券報告書及び有価証券届出書に含まれており、関東財務局に提出されている。

2. 重要な会計方針

（a）準拠基準

当該財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められる会計原則（以下、「US GAAP」という。）に従って作成されている。

（b）外貨換算

当社の財務諸表は米ドル建てで表示している。外貨建て取引は、取引日現在の為替レートで換算される。期末日現在のすべての外貨建て資産及び負債は、同日の為替レートで米ドル（\$）に換算される。換算より生じる為替換算差額は損益計算書において認識される。

（c）見積りの使用

US GAAPに準拠した財務諸表の作成にあたって、経営陣は財務諸表日現在の資産及び負債の報告額並びに偶発資産及び負債の開示、並びに当期中の収益及び費用の報告額に影響を及ぼす見積り及び仮定を行うことが求められている。実際の結果は、それらの見積額とは異なる可能性がある。公正価値は特定時点において市況及び金融商品の情報に基づき見積られる。これらの見積りは本来主観的なものであり、不確実性及び重要な判断を伴うため、正確に算出することはできない。仮定の変更は見積りに重要な影響を与える場合がある。

（d）現金

現金は銀行預金で構成されており、全額が、満期まで3ヶ月以内で流動性が高いとみなされている。

（e）未収管理報酬

未収管理報酬は投資管理会社としてのサービス提供先である信託に対して請求した管理報酬である。

当社の方針では一般貸倒引当金を設定していないが、すべての未収金は12ヶ月経過後に回収不能とみなされ償却される。

（f）収益及び費用

収益及び費用は発生基準で計上される。

（g）法人税等

ケイマン諸島では収益又は利益に対して課税されることはなく、仮に課税された場合でも2024年10月26日まで現地の収益、利益及び資本等に係る税金の適用を免除する旨の合意をケイマン諸島の総督から受け取っている。よって、法人税等に関する引当金は当該財務諸表に含まれていない。

（h）運用資産

運用中の信託の各サブファンドの資産及び負債は当社の資産又は負債ではないため、当該財務諸表には表示されていない。

3. 株式資本

	2022年6月30日	2021年6月30日
	米ドル	米ドル
授權済：		
各1円の償還可能参加型議決権付株式50,000,000株	351,212	351,212
発行済及び全額払込済：		
1円の償還可能参加型議決権付株式1株	1	1
資本剰余金	420,786	420,786

4. 管理報酬

当社は信託の各サブファンドの純資産の0.10%（年率）の管理報酬を、各サブファンドによって、半年ごと、四半期ごと又は月ごとに後払いで受領している。管理報酬は、独立第三者間条件での交渉に基づき設定されたものではない。

2022年6月30日に終了した6ヶ月において、当社は信託から16,000米ドル（2021年6月30日：17,077米ドル）の管理報酬を稼得しており、そのうち1,591米ドル（2021年6月30日：8,622米ドル）が同日現在未払となっている。

5. 関連当事者間取引

当社は信託の投資運用活動に関して一定の支配力及び重要な影響力を有することから、信託の関連当事者とみなされる。

2022年6月30日に終了した6ヶ月において、取締役は当社から0米ドル（2021年6月30日：7,500米ドル）の報酬及び費用を稼得しており、同日現在、未払となっている金額はない（2021年：なし）。

6. 金融商品の公正価値

金融資産及び負債は満期までの期間が比較的短いため、その帳簿価額は公正価値に近似している。

7. 金融商品及び関連リスク

信用リスク

信用リスクとは、取引相手がその義務の条件に従い当社に対して義務を履行できなかった場合に当社が被る可能性のある損失のことである。金融資産は、潜在的に当社を信用リスクにさらす可能性のある資産であり、主に現金及び現金同等物、並びに未収管理報酬で構成される。信用リスクの最大エクスポージャーは、かかる金融資産の帳簿価額に等しい。当社が現金残高を信用のある金融機関に預け、また未収管理報酬はその性質上短期であることから、現金及び現金同等物、並びに未収管理報酬に係る信用リスクは低いとみなされる。

通貨リスク

当社は、米ドルの他の通貨に対する換算レートが、米ドル以外の通貨建ての当社の資産及び負債の報告数値に不利な影響を及ぼす形で変動する可能性があるリスクにさらされている。

8. 後発事象

2022年9月1日付で、スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レッドはスーパーファンド・ジャパン・サブファンド・グリーンに統合され、その結果サブファンド・グリーンにシルバー円クラスとシルバー米ドルクラスが設定される。スーパーファンド・ジャパン・サブファンド・レッドに保有されていた受益証券はサブファンド・グリーンの相応するクラスにそれぞれ移管される。これは2022年9月1日付の正貨に基づく買戻し及び申込みによって実行された。

（２）【損益の状況】

管理会社の損益の状況は、上記「（１）資産及び負債の状況」を参照されたい。